

なり むね た ぼた
成宗・田端両村界限

(約 3.1km バス停善福寺川緑地公園前～バス停川南)

武士の伝説にちなむ地名や寺社をテーマに、江戸時代の成宗村と田端村の村名に由来する「成田」地域をあるく

約5,000歩

成田東 3-17

江戸初期は「伊那道」、その後は青梅街道脇道など様々な名で呼ばれました。「五日市街道」は明治以降の名称です。

成田東 3-15

成宗村字「^{しらばた}白幡」の念仏講中が建立しました。「白幡」の名は、源頼義・義家が奥州征伐に向かう途中、「源氏の白幡」のような雲が現れたことから名づけられたといわれます。

成田東 3-17

「尾崎」の名は、このあたりが、②の「源氏の白幡」に似た雲の「尾」のさき、であったことによるものといわれます。

成田西 3-3-30

曹洞宗寺院。16世紀末頃の開山とされています。**寛文八(1668)年** **銘青面金剛像**には「武州^(多摩)玉郡中野郷成宗村」とあり、中世期に「中野郷」に属した区内の村は、江戸時代の初め頃までその地名を使用しました。



成田西 3-4

転んだ者は長生きできないという言い伝えがあります。坂で転ばぬように、と注意を促すためのものと考えられます。

成田西 3-9-5

(3311)0105 太宮八幡宮

鎌倉から移住した武士による創建と伝わり、境内の**クロマツ**は都内有数の巨樹です。

成田東 5-29-3

成宗村の鎮守社で、祭神は素戔鳴命（スサノオノミコト）。神仏習合により、江戸期は牛頭天王社と呼ばれました。

成田東 5-29

中野村・高円寺村・馬橋村三ヶ村用水記念碑は、天保12（1841）年に完成した、善福寺川の水を桃園川へ通す用水路の恩恵を受けた村の名主家が、明治初期に建立しました。用水路は、善福寺川の西田端橋付近の取水口から弁財天の手前までと、区役所付近が珍しいすいどう隧道



荻窪 1-56-10

室町期に土着した武士が勧請したという田端村の鎮守社。社名は、田の端にあったことに由来するともいわれます。

荻窪 1-39

発見された遺跡を保存して公園としています。園内には「縄文時代の生活」を描いた園山俊二そのやましゅんじ氏の漫画があります。

荻窪 2-25-1

16世紀末開創の日蓮宗寺院。江戸中期に建てられた**鐘樓門**は、平成15(2003)年に当時の姿へ復元されました。

荻窪 2-28

江戸中期の銘を持つ石碑は、下荻窪村で流行した熱病が止むようと、村人たちが願をかけて造立したもので、その結果、病気の流行がおさまったといわれています。